

8020・7021表彰

11月1日(日)ふれあいフェスティバル2009で、「8020・7021表彰」が行われました。

海部歯科医師会会長伊藤貢様より次の方々が表彰され、代表として坂田法彦さんに表彰状を受け取っていただきました。

8020 管 文雄

7021

大野時市 岡本早苗
清水昭夫 高橋恵子
徳田喜久雄 岩崎恭子
水谷 勝 荒木まさ子
加藤正剛 加藤 勇
鈴木まさ子 高見用子
鈴木勝彦 伊藤みさ子
恒川 清孝 西垣 寛
坂田法彦 安井徳重

(敬称略・年齢順)

※名古屋ユマニテク歯科医療専門学校の学生さんに表彰に関してご協力いただきました。



この表彰は、「80歳代になっても20本以上、70歳代になっても21本以上の自分の歯を保ちましょう」という働きかけの一環として行われています。歯を失う原因として歯周病が挙げられますが、たばこの害が歯周病に影響することはあまり知られていません。

喫煙者では、歯周病の症状に気付きにくい、治りが悪い、歯肉にメラミン沈着が現れるなどの症状があります。非喫煙者とは比べると歯周病がより進行し、その結果歯をなくしてしまいます。

生涯自分の歯でおいしく食べて8020を達成するために、ご自身の歯の健康を見直してみましよう。

非行の芽
はやめにつもう
みな我が子

未来をつくる青少年が社会における自らの役割や責任を自覚し、豊かな社会性と優れた創造性を培い、心豊かにたくましく成長していくことは、町民すべての願いです。

皆さんも、よその子にも自分の子にも温かい目を向け、地域の子どもは地域が育てるという観点に立つて『声掛け』をしましょう。

年末の交通安全県民運動

12月1日(火)～10日(木)

年末は師走特有の慌しさから運転者や歩行者等の注意力が散漫となり、交通事故が起きやすくなります。また、忘年会のシーズンでもあることから飲酒の機会が増え、飲酒運転による事故も心配されます。

あわせて、この時期は一年を通じて日没時間が最も早く、夕暮れ時から夜間にかけて、特に高齢者が犠牲となる交通事故の多発も予測されます。

そこで、交通事故の増加が懸念されるこの時期に、県民総ぐるみで運動を展開し、県民一人ひとりの交通安全意識を高めるとともに、安全行動の実践を通じて交通事故の防止を図ります。

重 点

- 飲酒運転を根絶しよう
- 高齢者を交通事故から守ろう
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗車中の交通事故をなくそう
- すべての座席でシートベルト・チャイルドシートを正しく着用しよう



ストップ・ザ 交通事故

ゆずり合い 心が通じる 安全ドライブ